

潮来市 青少年のつどい

11月18日(土)、潮来公民館において令和5年度潮来市青少年のつどいが開催されました。第1部の青少年の主張では、市内の小中学校、高等学校から選出された11名の児童生徒の皆さんが、将来の夢や日頃考えていることなどを、多くの来場者の前で堂々と発表しました。第2部では、元バスケットボール日本代表選手の岡里明美さんを講師としてお迎えし、「夢の大切さ」という題で、ご自身の経験をもとにした大変貴重な講演をいただきました。



学校	学年	氏名	題名
潮来小学校	5	原 峻太郎	みんなを笑顔に
津知小学校	5	竹原 怜	ぼくの夢わたしの夢
延方小学校	5	根本 結芽	しょう来の夢
日の出小学校	5	榊原 りあ	私の将来のゆめ
牛堀小学校	5	永峰 青恋	女子プロ野球選手
潮来第一中学校	3	沢田 桜	私の街、潮来
潮来第二中学校	3	新橋 美咲	笑顔の力
日の出中学校	3	根本 泰誠	真の友情
牛堀中学校	3	小松崎 陽奈	仕事があたえる影響力
潮来高等学校	3	古川 真由	私の高校生活
潮来高等学校	3	香取 陽斗	高校生活で学んだこと

○児童生徒の皆さんの「青少年の主張」での発表内容は、1月以降、FMかしま「We Love ITAKO」で順次放送予定です。

日の出中学校3年 根本泰誠さん 少年の主張茨城県大会で茨城県知事賞受賞

日の出中学校3年根本泰誠さんは、「真の友情」という題で、令和5年度少年の主張茨城県大会、さらには全国大会に出場されました。茨城県大会では、茨城県知事賞、水戸西ライオンズクラブ会長賞、鹿島アントラーズ賞、優秀賞と、見事多くの賞を受賞されました。また11月30日(木)には、市長を表敬訪問され、県大会・全国大会を終えての結果を市長に報告されました。誠にありがとうございます。



ふくだわら 下壹丁目「福俵」町内で手作り

毎年、各地区の迫力ある山車が勢ぞろいし、潮来の夏を大いに盛り上げる潮来祇園祭禮。下壹丁目の山車の上に載っている「福俵」は、潮来市内で唯一、地域の方々によって手作りされています。昨年8月～11月の3か月間にかけて、5年に1度行われる制作が行われ、町内、若連、下丁育成会、消防団など、約50名の手により立派な俵が完成しました。下壹丁目若衆頭の高村博敬さんは、「下壹丁目が町内で守ってきたこの俵をこれからも町内の伝統文化として守っていくと共に、これから携わっていく子どもたちに伝えていけたらと思います」とその思いを語ってくださいました。



○「福俵」制作の流れ

蒲刈場探し→刈り取り→洗浄→選別→天日干し→ムシロ作成→ボッチ作成→編み込み→仕上げ完成

